

地震に備え、住民一丸

四日市 官と連携、500人訓練

【四日市】四日市市四郷連合自治会(後藤一夫会長)などは十一日、明日起こるかもしれない地震に備えようと、地域住民、自主防災隊、消防分団、行政防災機関等と連携し、同市西日野町の四郷小学校で「平成十八年度・四郷防

災訓練」を実施し、初期消火、応急救護、放水、炊き出しなどの訓練をした。

午前九時、発災のサイレンを合図に室山、東日野、西日野、小林町など七地区の住民らが指定場所に避難して点呼。同小学校に設置された現

地災害対策本部に集結し、避難状況を報告した。

住民らは地区別に三班に分かれて、はしご車や消火器を使った初期消火、バケツリレー、AED(自動体外式除細動器)を用いた心肺蘇生法などを順番に体験し学んだ。

地域住民ら約五百人が参加。東日野町の佐藤忍さん(三三)は「万一に備え、訓練の大切さを実感しました」と話していた。

(岸本)

自衛隊が初の参加

【四日市】自衛隊三重地方

協力本部と陸上自衛隊久居、明野両駐屯地の第三普通科連隊、第一〇飛行隊隊員ら八人は、十一日の「平成十八年度・四郷防災訓練」に参加し、ヘリコプターによる会場上空の偵察飛行と、災害救助パネルや軽装甲機動車などを展示した。

ヘリコプターは、会場上空を約二十分間にわたり大きく旋回しながら被害状況の確認訓練をした。

主催した四郷連合自治会の後藤一夫会長は「ヘリの偵察飛行など、自衛隊の参加で緊迫感もあり、防災意識がより高まった」と語った。

中電が緑のカーテンキャンペーン 種子を配布

【名古屋】中部電力は、ついで夏場の電力消費の抑制を図るため、グリーンカーテンキャンペーンで、十二日無料配布の種子は今年がアム(ニガウリ)の二種。同社の所や支店など窓口で入手でき、インターネットのホームページでも申し込みができる。

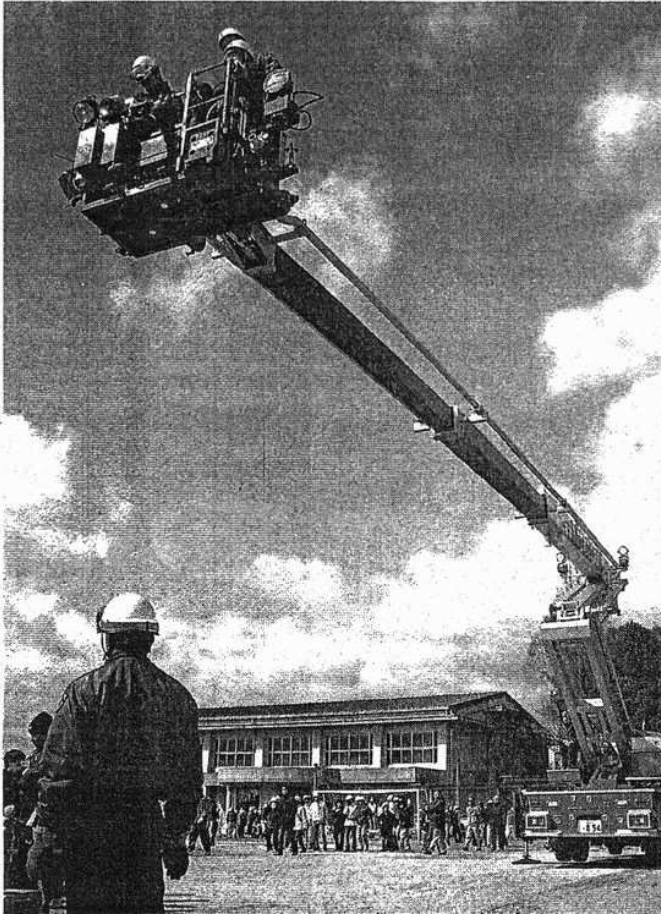
窓辺の緑のカーテンは、直射防くほか植物からの水分蒸散が昇を抑え、真夏のエアコン使用省エネ効果があるとされている。申し込みは、はがきの氏名、年齢、電話番号と希望の種も可)を記入。〒461-0東郵便局留、中部電力広報部キャンペーン係へあてに申し込み。URL: <http://link.crp.jp> のイベントの項。

ほかに同社は、夏の省エネの作り手のエピソードを添えた写真も募集。詳細は種

りが心配で相談。小児はりを50号の大作試してみようと思えます」と話していた。

トレーニングジムや温水プール、屋内トラック、グラウンドゴルフ場などの無料開放もあり、参加者らは健康相談後、それぞれ好きなスポーツ

色紙を並べ、二人はそり、趣味の



はしご車乗車体験をする参加者ら。四日市市西日野町の四郷小学校で



展示された偵察オートバイや軽装甲機動車。四日市市西日野町の四郷小学校で